

七宝焼き(丸型キーホルダー)

銅板に色ガラスの粉をのせ、高温で焼くと光沢の美しい七宝焼きができます。リングをつければオリジナルキーホルダーに。お土産に最適です。



対象	4年生以上	実施時期	通年(海の日～8/31は不可)
持ち物	軍手		

ねらい

- ・想像力や表現力を高める。
- ・名栗の思い出の作品を作る。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、本所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆説明は本所職員が行います。

以降は、各団体が中心となり進行してください

準備(1テーブル 6人程度)

- ① 机を2つ合わせて新聞紙を一面に敷きます。
 - ② セットされた道具を各テーブルに1つ運びます。
 - ③ 竹串・紙やすり・銅板・キーホルダーをテーブルにいる人数分用意します。
- ※銅板はなるべく油分が付かないよう、端を持ちます。

実施

- ① 銅板の裏表を紙やすりを使って磨きます。
※なるべく手に触れないように磨きます。
- ② 銅板を網の上にのせます。
- ③ 裏引き(銅板の変形を防ぐためのもの)を銅板の裏(お椀型に置いた時上になる部分)にのせます。
※厚さははがき1枚程度です。
- ④ 裏引きをのせたら、ティッシュペーパーを使って水を吸い取ります。
※ティッシュペーパーを軽くのせると水が吸い取られます。裏引きがはがれないよう気をつけましょう。
- ⑤ 銅板の表を上にし、網の上に置きます。
- ⑥ 竹串を使って銅板の表に釉薬をのせます。
※厚さは裏引きと同じくはがき1枚程度です。
※2種類以上のゆう薬を使う時は、必ず竹串を水洗いしてから次のゆう薬を使うようにしましょう。

6



※色の違うゆう薬を重ねると焼きあがりで色が変わってしまうので、重ねないようにしましょう。

※銅板が出ていると焦げてしまうので、全体が隠れるようにゆう薬をのせます。

⑦ ゆう薬をのせたらティッシュペーパーで水分を吸い取ります。

⑧ 網にのせたまま、かまへ持っていきます。

※かまへの出し入れは指導者が行ってください。

※かまは約800℃ととても熱いので、周りには近寄らず焼きあがるまで遠くで待機します。

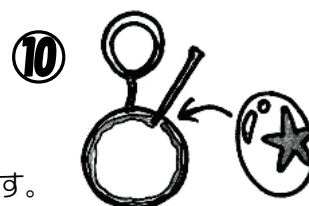
※焼きあがった後5分程度はかまのそばで冷ましておきます。

⑨ 冷めた銅板の周りをグラインダーを使って整えます。

※場合により指導者が行ってください。

⑩ キーホルダーの内側の周囲に接着剤を付けて、銅板をはめ込みます。

※接着した後、5分程度はそのままにしておきます。



片付け

① ケースに入った道具類やその他の道具を所定の場所に戻します。

② ティッシュペーパーや新聞紙をゴミ箱に捨てます。

③ 床に落ちているガラスの粉やゴミを掃き掃除します。

まとめ

・作品を披露し合います。

・ふりかえり

・七宝焼きはかまの温度やゆう薬の厚みで色や光沢が変わるので、同じものは出来ません。たったひとつの作品なので大切にしよう伝えます。

留意点

・銅板には油分がなるべく付かないように扱しましょう。

・ゆう薬は色が混ざると使えなくなってしまうので、1色使うごとに竹串を水洗いしましょう。

・かまは大変熱くなるので、指導者が管理をし、子どもは離れた場所から見るようにしてください。

・焼きあがった型は冷めるまで数分かかるので様子を見ながら待ちましょう。

・グラインダーも指導者が扱ってください。(ガラス片が飛び散って危険です)